

別表第6 (第8条第6項関係)

日本語教員養成に関する科目及び履修方法

授業科目の名称		授業を行う年次	単位数又は時間数			修了要件単位数
			必修	選択	自由	
日本語教員養成に関する科目	言語	ことばの音	2	2		10単位
		日本語教育文法	2	2		
		ことば学の基礎	2	2		
		ことばの意味	2		2	
		会話分析論	2		2	
		語用論	2	2		
		ことばの比較	2		2	
		日本語意味論	2		2	
		統語論	2		2	
		意味論	2		2	
		音声学 I	2		2	
		音声学 II	2		2	
		中国言語概説 A	2		2	
		中国言語概説 B	2		2	
		中国言語特講 I A	3		2	
	中国言語特講 I B	3		2		
	中国言語特講 I C	3		2		
	中国言語特講 I D	3		2		
	言語と教育	日本語教育概論	3	2		10単位
		日本語教授法	3	2		
		コースデザイン論	3	2		
		授業設計論	3	2		
		日本語教育評価論	3	2		
		日本語教育研究	3		2	
	教育工学	4		2		
	言語と教育	日本語教育実習指導 I	4	2		6単位
		日本語教育実習指導 II	4	2		
	言語と教育	日本語教育実習	4	2		6単位
		日本語教育実習	4	2		
	社会・文化・地域	日本語教育事情	2		2	2単位
		日本語教育史	2		2	
		社会学	1・2・3・4		2	2単位
		日本文化論	1・2・3・4		2	
		文化とアイデンティティ	1・2・3・4		2	
		戦争と歴史認識	1・2・3・4		2	
		横浜の歴史と民俗 A	1・2・3・4		2	
		国際法 I	2		2	
		国際法 II	2		2	
アジア政治		3		2		
アジア政治史		3		2		
開発経済学 I		3		2		
開発経済学 II		3		2		
国際関係論		2		2		
ラテンアメリカ現代研究 I		2		2		
ラテンアメリカ現代研究 II	2		2			
ラテンアメリカ政治経済 I	3		2			
ラテンアメリカ政治経済 II	3		2			
言語と社会	多文化社会と言語政策	2		2	2単位	
	ことばと社会	2		2		
	ボランテニア論	1・2・3・4		2	2単位	
	異文化間コミュニケーション	1		2		
	Global Citizenship Studies I	4		2		
	Global Citizenship Studies II	4		2		
横浜学 I	2		2			
横浜学 II	2		2			
言語と心理	ことばの発達論	2		2	2単位	
	日本語教育とバイリンガリズム	2		2		
	心理学	1・2・3・4		2	2単位	
	学習・言語心理学	2		2		
	生涯発達心理学 I	2		2		
生涯発達心理学 II	2		2			
コミュニティー心理学	3		2			

〔備考〕

- 1 課程登録は原則として2年次に行う。未登録者は単位が認定されないため、注意が必要である。
- 2 「日本語教育実習」に出るための条件は、実習の前年度までに原則として必修科目18単位、選択必修科目4単位を修得済みであり実習の年度内に卒業見込みである者のみ履修することができる。
- 3 修了要件単位数＝「言語」の区分から10単位以上、「言語と教育」の区分から16単位以上、「社会・文化・地域」、「言語と社会」、「言語と心理」の区分からそれぞれ4単位以上、合計38単位以上を修得すること。